

## 平成27年度第1回富津市介護保険運営協議会会議録

1. 日時 平成27年5月20日(水) 開会 午後2時54分  
閉会 午後4時23分
2. 場所 富津市役所 4階 401会議室
3. 出席委員  
渡辺 務 (市議会議員) 白石 良造 (被保険者)  
小泉 定男 (被保険者) 榎本 栄子 (被保険者)  
小林 美奈子 (被保険者) 東 弘志 (学識経験者)  
三枝 奈芳紀 (保健医療関係者) 大塚 坦造 (保健医療関係者)  
磯部 健一 (福祉関係者) 古堀 真由美 (サービス事業者)  
今木 康之 (サービス事業者) 亀卦川 明 (サービス事業者)  
藤野 勉 (サービス事業者)
4. 欠席委員  
熊切 篤 (保健医療関係者) 井戸 義信 (福祉関係者)
5. 議件  
(1) 議案第1号 富津市介護保険運営協議会会長及び副会長の互選について  
(2) 議案第2号 地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定について  
(3) 議案第3号 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算について  
(4) 議案第4号 平成27年度地域包括支援センターの事業計画及び予算について
6. 事務局職員等

### 【事務局】

高橋副市長、磯貝健康福祉部長、大塚介護福祉課長、大川介護福祉係長、  
立石高齢者支援係長、佐藤主査、山口社会福祉主事、山田主任主事

### 【説明員】

富津市富津地区地域包括支援センター 門馬センター長、  
富津市大佐和地区地域包括支援センター 三枝センター長、  
富津市天羽地区地域包括支援センター 岩原センター長

会議開催結果

1 会議の名称	平成27年度第1回富津市介護保険運営協議会
2 開催日時	平成27年5月20日(水) 午後2時54分～午後4時23分
3 開催場所	富津市役所 4階 401会議室
4 審議等事項	議件 (1) 富津市介護保険運営協議会会長及び副会長の互選について (2) 地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定について (3) 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算について (4) 平成27年度地域包括支援センターの事業計画及び予算について
5 出席者	【委員】 渡辺 務、白石 良造、小泉 定男、榎本 栄子、 小林 美奈子、東 弘志、三枝 奈芳紀、大塚 坦造、 磯部 健一、古堀 真由美、今木 康之、亀卦川 明、 藤野 勉 【市長(代理)】 副市長 高橋 恭一 【事務局】 磯貝健康福祉部長、大塚介護福祉課長 大川介護福祉係長、立石高齢者支援係長、 佐藤主査、山口社会福祉主事、山田主任主事 【説明員】 門馬センター長、三枝センター長、 岩原センター長
6 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人 (定員2人)
9 所管課	健康福祉部 介護福祉課 介護福祉係 電話 0439-80-1262
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成27年度第1回富津市介護保険運営協議会会議録

発言者	発言内容
大川係長	<p>開会（14：54）</p> <p>定刻前ではございますが、本日欠席される旨、また遅れる旨、ご連絡いただいている方を除きまして、皆様にお集まりいただいております。</p> <p>会議を始めます前に、委員の皆様には3点、お断り申し上げます。</p> <p>1点目は、いきいきふっつ高齢者プラン第6期富津市介護保険事業計画・高齢者福祉計画についてでございます。</p> <p>委員の皆様には、本事業計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>本日、お手元に配付させていただきました。</p> <p>2点目は、資料の訂正についてでございます。</p> <p>本日の会議資料の一部に訂正が生じたので、お手元に配付させていただきました。</p> <p>3点目は、説明員の出席についてでございます。</p> <p>議案第3号及び議案第4号の説明のため、3地区の地域包括支援センター長にお出でいただいております、関係議案の際に入室させていただきます。</p> <p>それでは、ただ今より、平成27年度第1回富津市介護保険運営協議会をはじめさせていただきます。</p> <p>本日、12名の方に出席いただいております、委員定数15名の過半数を超えておりますので、介護保険運営協議会は成立いたします。</p> <p>なお、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承をお願いします。</p> <p>それでは、お手元の会議次第により進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、市長あいさつでございます。</p>
高橋副市長	<p>皆様こんにちは、副市長の高橋でございます。</p> <p>本来でありますと、佐久間市長が、ご挨拶させていただくところですが、本日は東京に公務出張中でございますので、私から代わりにご挨拶させていただきます。また、本来ですと、私ども職員はじめクールビズで公務に臨ませていただいております。会議のお知らせの時にクールビズでお願いいたし</p>

<p>大川係長</p> <p>磯貝部長</p>	<p>ます、というようなご案内をさせていただかなければいけなかったと考えております。大変会議室内暑くなっておりますので、委員の皆様には上着等をご自分の体調に合わせて調整をいただければと思います。申し訳ございませんでした。</p> <p>それでは改めまして、皆様方には、介護保険運営協議会委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、本日はお忙しい中、ご出席いただき、重ねて感謝を申し上げます。</p> <p>さて、昨年6月に公布されました医療介護総合確保推進法により介護保険法が改正され、特別養護老人ホームの重点化、介護保険利用者負担の公平化、新たな地域支援事業の実施義務化などが導入されました。</p> <p>富津市においても、昨年度ご審議いただきました、いきいきふつつ高齢者プラン第6期富津市介護保険事業計画によりまして、介護保険料の見直しを行うとともに、計画いたしました介護サービス量の確保に向けて取り組んでいるところでございます。</p> <p>一方、実施が義務付けられまして、実施時期を繰延べいたしました、介護予防・日常生活支援総合事業及び認知症総合支援事業につきましては、高齢者の皆様が安心して暮らせるよう、また、滞りなく提供できますよう体制を整備してまいりますので、皆様方の引き続きのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。さて、本日の会議内容につきましては、会長及び副会長の互選など、4議案でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、委員就任後初めての会議でございます。磯貝健康福祉部長が、委員の皆様をご紹介申し上げます。</p> <p>健康福祉部長の磯貝と申します。</p> <p>それでは、私から委員の皆様をご紹介申し上げます。</p> <p>座席順にご紹介申し上げます。なお、本日の運営協議会資料の最終ページに委員名簿を綴じ込ませていただいております、併せてご覧いただければと思います。</p> <p>(委員の紹介・事務局の紹介)</p> <p>以上でございます、よろしくお願いいたします。</p>
-------------------------	---

大川係長	<p>富津市介護保険規則第5条の3により会長が議長となると規定されておりますが、委員就任後初めての会議でございますので、会長、副会長が互選されるまでの間、副市長が仮議長の職を務めさせていただきたいと思いますが、ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
大川係長	<p>それでは高橋副市長、議長席へお願いします。</p>
高橋副市長	<p>それでは、会長が選出されるまでの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議案第1号 富津市介護保険運営協議会会長及び副会長の互選についてを議題といたします。</p> <p>事務局からの説明をお願いします。</p>
大塚課長	<p>議案第1号 富津市介護保険運営協議会会長及び副会長の互選についてご説明申し上げます。お手元でございます、資料1ページをご覧くださいと思います。</p> <p>こちらに、富津市介護保険条例施行規則の抜粋を記載してございます。記載のとおり、第5条の2第1項に富津市介護保険運営協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。とございますので、会長及び副会長を委員の中から、委員の皆様の互選により当選人を決定させていただきたいと思います。以上でございます。</p>
高橋副市長	<p>事務局の説明は終わりました。互選といってもいろいろな方法がありますが、如何いたしましょうか。</p>
亀卦川委員	<p>指名推選の方法が一番よいのではないのでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
高橋副市長	<p>ただいま、亀卦川委員から指名推選の方法がよいのではないかというご意見をいただきました。</p> <p>会長及び副会長の互選は、只今異議なしというお言葉もいただいておりますので、指名推選の方法で行わせていただきます。改めましてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「意義なし」の声あり)</p>
高橋副市長	<p>それでは、どなたか会長の推選ございましたらお願いいたします。</p> <p>はい、白石委員</p>

白石委員	渡辺委員を推選します。
高橋副市長	只今、白石委員から渡辺委員を会長にという推選がございました。他に推選ございますでしょうか。
	他に推選もないようでございますので、先ほど推選のございました渡辺委員を当選人に決定することで、ご異議ございませんでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
高橋副市長	異議がないものと認めます。よって渡辺委員が会長に当選されました。
	それでは、続きまして、副会長の推選をお願いいたします。どなたかご意見ございましたらお願いいたします。
	大塚委員
大塚委員	副会長に東委員を推選いたします。
高橋副市長	只今、東委員を副会長にという推選がございました。ほかにもございますでしょうか。
	他にないようでございますので、推選のございました、東委員を当選人とすることでご異議ございませんでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
高橋副市長	異議がないものと認めます。よって東委員が副会長に当選されました。
	それでは、以上で仮議長の任を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
大川係長	会長、副会長には前の席にお着きいただき、ひと言ごあいさつをお願いします。
渡辺会長	それでは、改めまして皆さんこんにちは。
	皆さんからご推挙いただきまして、会長を仰せつかりました、渡辺務と申します。
	皆さんご存知のとおり、地域包括ケアの推進をはじめとしまして、この介護保険運営協議会の果たすべき役割というのは、大変重要なものがあると思います。
	介護保険事業の有効かつ適切な運営の為、皆様には活発なご意見、議論をしていただいて、そしてご指導いただきたい。そうお願いを申し上げまして私のご挨拶とさせていただきます。

東副会長	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>東でございます。</p> <p>富津市はこれからどんどん高齢者が増えてくると思います。</p> <p>その中における、介護保険運営協議会というのは非常に大事なセクションだと思います。</p> <p>是非皆さんと協力して、高齢者が安心して暮らせる町づくりに協力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
大川係長	<p>ありがとうございました、それでは渡辺会長、議長をよろしくお願いいたします。</p>
渡辺会長	<p>それでは、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>小林委員を議事録署名人に指名しますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>議案第2号 地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
山田	<p>はい、山田主任主事どうぞ。</p> <p>議案第2号 地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定についてをご説明申し上げます。</p> <p>お手元の第6期介護保険事業計画冊子の44ページをお開きいただきたいと思っております。</p> <p>こちらに(4)在宅生活を支える基盤整備として記載がございます地域密着型サービスの整備のため、サービスを提供する事業者を公募により募集することを第6期事業計画で定めたところでございます。</p> <p>本議案につきましては、第6期事業計画期間中に実施する地域密着型サービス事業者公募の第1弾であります小規模多機能型居宅介護のサービスを提供する事業者の選定についてでございます。</p> <p>この小規模多機能型居宅介護は、利用者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、心身の状況・希望・環境をふまえ、通いサービス・訪問サービス・宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービスでございます。</p> <p>本公募を平成27年3月10日(火)から4月10日(金)まで実施したところ、1法人、セントケア千葉株式会社から協議会資料の3ページに掲載</p>

	<p>のとおり応募申込書が提出されました。</p> <p>なお、資料の3ページ以下11ページまでに、この申込書の添付資料のうち、主なものを掲載しております。</p> <p>資料の12ページから14ページをご覧いただきたいと思います。こちらに設置基準チェック表を掲載しております。この表のとおり、提出された書類の審査を行ったところ、応募要件を全て満たしていることが確認されました。</p> <p>これに伴い、平成27年4月24日（金）に事業者公募に係る提案審査を実施しております。</p> <p>協議会資料の15ページ・16ページをお開きください。こちらに掲載の選定基準により、審査したところ、選定員6人による評点は、16ページ下段右側に掲載の提案審査結果の表のとおりとなりました。</p> <p>表の左側に選定要綱の抜粋を掲載しておりますが、選定要綱第4条第2項及び第3項に規定する基準をいずれの評点も上回っていることから、この法人を本公募の事業者として選定することについて、ご審議をお願いするものでございます。</p> <p>なお、承認を得られた後、協議会資料の2ページに掲載しております通知書（案）により、この法人に選定事業者として選定した旨通知することとなります。また、この通知にも記載のとおり、この事業者選定については事業所の指定を確約するものではありません。サービス提供開始のためには、別途指定申請の必要があり、この申請があった場合、本運営協議会に事業所指定について諮問させていただく事となります。</p> <p>以上で、議案第2号 地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定についての説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>事務局の説明は終わりました。ご質疑、ご意見ございますか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようでございますので、地域密着型サービス事業者公募に係る事業者の選定については、承認することに異議ございませんか。</p> <p>（委員から「異議なし」の声あり）</p> <p>異議なしと認めます。それでは、議案第2号 地域密着型サービス事業者</p>
渡辺会長	
渡辺会長	

<p>大塚課長</p>	<p>公募に係る事業者の選定については、承認することに決定いたします。</p> <p>続きまして、議案第3号 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算についてを議題といたします。説明員の方は、入室してください。</p> <p>(富津地区・大佐和地区地域包括支援センター長 入室)</p> <p>それでは事務局の説明を求めます。</p> <p>大塚課長。</p> <p>議案第3号 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算についてご説明申し上げます。</p> <p>地域包括支援センターは、当該市町村の地域包括支援センター運営協議会の意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保することと介護保険法施行規則第140条の6第4号に規定されており、本市においては、その地域包括支援センター運営協議会の役割を本介護保険運営協議会に担っていただいていることからご審議をお願いするものでございます。</p> <p>それぞれの地域包括支援センターの職員から事業評価及び決算についてご説明申し上げますので、ご質問、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。なお、議案第4号につきましても同様にご審議をお願いいたします。</p> <p>それでは、初めに富津市地域包括支援センター分からご説明申し上げます。よろしく願いいたします。</p>
<p>渡辺会長 立石係長</p>	<p>それでは、天羽地区からご説明いただきます、立石係長どうぞ。</p> <p>それでは、お手元に差し替えさせていただきました、17ページの資料をご覧くださいと思います。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続できるように、地域包括ケアの中核拠点として活動する地域包括支援センターの全ての業務の入り口になるのが、総合相談でございます。お手元の資料の左側が事業説明と評価になっております。</p> <p>相談件数は、窓口の初期相談件数89件と合わせまして、平成26年度200件です、当センターに直接相談のあった件数は111件となります。</p> <p>直接相談のあった件数のうち、その相談の数項及び相談者は、警察から20件、民生委員から9件、病院4件、庁内他課あるいは関係機関から15件と、半数が関係機関からのものでした。</p>

また、相談対象の特性等の内訳でございますが、認知症の方17件、精神疾患をお持ちの方7件、虐待の疑いを含めまして虐待関係が12件で、3割を占めております。これらのケースにつきましては、家族が知的障害や精神疾患、アルコール依存症、無職など、複合的な問題も数多く併せ持つておりました。緊急対応や複合的な問題、キーパーソン不在への支援実績に応じて、関連機関からの相談が増えてきております。

介護保険の枠内では解決困難で、事業計画にあります他の業務を行う3職種のチームアプローチと、医療・介護・予防・福祉の専門職、民生委員や地域の方々などで構成いたします地域ケア会議による多職種協同による解決に向けて支援をするため、関連機関との連携推進を図ることがますます重要となってきております。

次に介護予防業務でございますが、(1)地域支援事業の介護予防につきましては、地域の介護予防の取り組みの向上に向け、重度化防止推進員養成研修や、君津圏域地域リハビリテーション連絡協議会の公開フォーラムへの参加などの支援を行いました。

また、(2)は、予防給付の方へのサービスとなりますが、要支援認定者の介護予防支援では、利用者のケアプラン作成など、ケアマネジメント件数が、新規68件、継続が1,359件ございました。

また、介護予防の地域支援事業について、委託いたしました2包括へ基本チェックリストによる実態調査の把握を依頼しました。

次に、認知症に対する取り組みにつきまして、認知症についての正しい理解のための普及啓発を行い、認知症サポーター養成講座79人、出前講座50人の参加がありました。高齢者見守り事業の協定機関との共催によりまして対象が広がってきております。また、イオンモール富津におきまして8月から1月にかけて、月1回実施しております、資料配布や認知症クイズを通して、普及啓発を行いました。以上が実施いたしました事業と評価でございます。

次に収支報告書をご覧いただきたいと思います。

一般会計につきまして、歳入の決算額が7,237,346円、内訳は、介護予防支援事業収入6,106,380円、雑入70,062円、一般財

<p>渡辺会長 富津地区 門馬センター 長</p>	<p>源が1,060,904円でございます。</p> <p>歳出でございますけれども、7,237,346円です。内訳は、介護予防支援事業費人件費1,846,921円、物件費5,238,535円、この物件費には、ケアプラン作成委託料4,353,810円と、虐待高齢者保護措置費151,890円です。</p> <p>次に、介護保険特別会計の決算でございます。歳入の決算額が64,328,065円。内訳は、第1号被保険者保険料8,431,523円、国庫支出金、これは介護予防と、包括支援任意事業を合わせまして25,123,685円でございます。社会保険診療報酬支払基金地域支援事業支援交付金6,667,000円、県支出金これも2つ合わせまして、12,561,842円でございます。一般会計が2つ合わせまして、繰入金11,530,739円、雑入が13,276円です。</p> <p>次に歳出でございますが、64,328,065円、内訳は、二次予防事業費人件費及び物件費で9,943,554円、地域包括支援センター運営事業委託料が6,147,760円、一次予防事業物件費66,354円、包括的支援事業費の介護予防ケアマネジメント事業人件費8,048,129円、物件費1,015,102円です。また、地域包括支援センター運営事業委託料が35,437,309円、総合相談支援事業物件費が602,700円、権利擁護事業物件費14,940円、任意事業の介護給付費適正化事業物件費は507,297円、家族介護支援事業物件費2,544,920円、以上のとおりでございます。</p> <p>それでは、続きまして、富津地区お願いいたします。</p> <p>富津地区地域包括支援センターの報告をさせていただきます。</p> <p>18ページをご覧ください。評価の方からご説明したいと思います。</p> <p>総合相談業務については、地域の高齢者実態把握調査では、現在800件の訪問が終了しております。その方たちの中で、相談する場、方法、介護保険の情報もわからずに悩んでいる高齢者の存在も明らかになってきました。民生委員さん、医療機関からの相談も多くあり、関係機関と連携し、必要に応じ、地域ケア会議を開催、チームアプローチによる支援に努めました。</p> <p>次に介護予防業務でございますが、4地区、富津2ヶ所、大堀・川名にお</p>
---------------------------------------	---

いて、現在、介護予防健康教室を開催しております。延べ572名の参加がありました。その中では、健康体操ばかりでなく、移動交番などによる振り込め詐欺などの講習、認知症の講習を行いました。

地域支援事業の介護予防としては、実態調査で健康教室の参加希望が多く聞かれましたが、既存の教室では、定員等の問題があり受け入れ困難なこともありました。ひとり暮らしや閉じこもりの高齢者が安心した在宅生活を送るためには、なじみの場と相談できる相手を持つことが大切な要素であると考え、法人の予防センターを利用し、健康教室を開設いたしました。現在、月1回第3木曜日に実施をしております。参加者からは、回数を増やしてほしい、男性の閉じこもり解消のため、囲碁・将棋・麻雀などができる場がほしいなど、多くの意見をいただくようにもなりました。

認知症に関する取り組みとしては、家族介護教室を実施いたしました。参加者は5名と少なかったのですが、活発な意見交換が行われたように思います。以上報告を終わらせていただきます。

次に19ページの収支報告書についてご説明申し上げます。

収入の部ですけれども、収入額は7,339,780円でありました。年間通しては、1,110件の担当をいたしました。これは直営と委託分と合わせたものです。法人本部よりの繰り入れが2,603,380円ありました。

支出ですが、介護支援事業費として、富津地区地域包括支援センターでは、専任のケアマネジャーを1名設置しております。人件費と物件費あわせて4,700,000円です。物件費の中にはガソリン代、事務用品、パソコンシステム料、通信費などがあります。初年度なので、車両の購入費などがありました。合計で7,339,780円となっております。

次に包括的支援事業及び介護予防事業ですが、収入は29,689,000円となっております。委託料の収入が21,700,000円、初度設備費が300,000円でございます。こちらも法人本部より繰り入れとして7,689,000円計上しております。

次に支出ですが、支出額は29,689,000円です。

一次予防事業費と二次予防事業費で12,723,000円でした。

<p>渡辺会長 大佐和地区 三枝センター 長</p>	<p>初年度でしたので、事務所開設のための設備費としては、物件費が少しかかったと思っております。その中ではやはり車両購入、パソコン機器、事務所賃借料等がございました。</p> <p>次に包括的支援事業費ですが16,781,000円です。介護予防ケアマネジメント事業と、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業のそれぞれ人件費、物件費の合計であります。</p> <p>任意事業として、家族介護支援事業、人件費が100,000円、物件費が85,000円です。</p> <p>物件費については先ほども申し上げましたとおり、車両、パソコン、事務用品、ガソリン代などが主であります。</p> <p>それでは、続きまして、大佐和地区お願いいたします。</p> <p>大佐和地区地域包括支援センターの三枝と申します。</p> <p>それでは、大佐和地区地域包括支援センターの事業評価及び決算につきまして、ご説明をさせていただきます。資料の20ページをお願いいたします。</p> <p>昨年4月から富津市より委託をうけまして、1年が経過した中での平成26年度の評価につきましては、資料20ページから21ページの左側までのおりとなっております。その中で平成26年度につきましては、自治会での地域包括支援センターの活動の説明会や、大佐和地区の地区社会福祉協議会、また民生委員協議会の定例会での包括支援センターの活動の説明、その他にも、区長様にご協力いただきまして、自主回覧にて圏域の市民の皆様への広報紙の発行等により、周知活動を行ってきました。その中で、地域包括支援センターに対する認知度が日々高まっていまして、相談支援は月を重ねるごとに増加傾向にあります。周知活動を終えた後には、今までどこに相談すれよいかわからなくて電話をしてみた等の相談が入り、周知活動の必要性を実感しました。</p> <p>相談内容も多種多様になってきており、虐待と思われるケースにつきましては、行政機関へ報告、相談をする中で、迅速に対応できたと考えております。その中で、認知症や成年後見制度等の相談なども含め、平成26年度は124件の初期相談を受けました。</p> <p>相談につきましては、現在も継続しているもの、また、包括支援センター</p>
--	--

<p>渡辺会長</p>	<p>職員で解決したもの、内容によっては適切に各関係機関につなぎ、情報提供するなど、きめ細やかなサービスの提供ができたと考えております。</p> <p>地域ケア会議や、実態把握調査等につきましては、他業務の関係で上半期に活動することができず、その後は介護福祉課と相談しながら、準備を整え、下半期に実施しました。この業務を行うことにより、潜在化されたニーズが浮き彫りになり、サービス提供につなげたこともありましたので、平成27年度からは計画的に進めていくことを職員間で再確認し、現在進めている所でございます。</p> <p>続いて、収支報告に移らせていただきます。</p> <p>介護予防支援事業決算となりますが、収入は要支援1・2の方のケアプラン作成に係る収入で4,144,080円です。支出につきましては、職員の人件費、物件費は事務消耗品等や、各事業所へのケアプラン作成委託料で3,550,741円、また、次年度への繰り越しで、593,339円で、支出合計といたしまして4,144,080円となります。</p> <p>続きまして、包括的支援事業及び介護予防事業となります。収入といたしまして、市からの委託料や、年度当初運営資金といたしまして、法人本部からの繰入金等で収入合計が21,662,600円でございます。</p> <p>支出につきましては、地域支援事業といたしまして、二次予防事業費2,516,452円、これにつきましては、職員の人件費と消耗品、通信費等が含まれています。一次予防事業費が5,030,884円、こちらにつきましては、職員の人件費、印刷製本、消耗品費、通信費等が含まれています。</p> <p>また、包括的支援事業・任意事業といたしまして12,115,264円、こちらにつきましては、人件費や、事務機器、パソコン、システム借上げ等が含まれています。また、当初資金運営費といたしまして、法人本部へ返金しておりますので、支出合計といたしまして21,662,600円となっております。以上で説明を終わらせていただきます。</p> <p>只今、3つの日常生活圏域について、一緒に駆け足でご説明いただきましたけれども、3カ所を通して、ご質疑ご意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>はい、今木委員。</p>
-------------	--

今木委員	<p>3カ所見せていただきまして、基本的なことで大変申し訳ないのですが、富津地区と大佐和地区はそれほど変わらないのですが、天羽地区が決算額が大変大きくなっておりませんが、どういう理由でしょうか。</p>
渡辺会長	<p>大塚課長お願いします。</p>
大塚課長	<p>天羽地区は直営分でございますが、直営分につきましては、まず一般会計の部分につきましては、指定介護予防支援事業所、要支援の方のケアプランを作る事業所の歳入歳出をこちらに計上してございます。富津市の一般会計150億円のうちの一部分をこちらに掲載しております。</p>
	<p>それから、特別会計につきましては、介護保険事業特別会計のうち、これは40数億円あるわけですが、その内の3款の地域支援事業費の部分を抜粋してございます。その中で、直営の包括を行うとともに、富津地区、それから大佐和地区の地域包括支援センターの運営委託料としての経費がこの中に含まれておりますので、富津地区・大佐和地区よりも多くなっております。</p>
渡辺会長	<p>はい、今木委員。</p>
今木委員	<p>資料17ページの地域包括支援センター運営事業費委託料、ここがその部分でしょうか。</p>
渡辺会長	<p>大塚課長。</p>
大塚課長	<p>歳出の資料で申し上げますと、3.1.1の二次予防事業費の運営委託料、3.2.1のところの運営委託料、具体的に言いますと6,147,760円、35,437,309円こちらを合わせたものが、平成26年度富津地区と大佐和地区にお願いしました委託料でございます。</p>
渡辺会長	<p>はい、藤野委員。</p>
藤野委員	<p>私も、今木委員と同様の意見でございますが、内容は理解でき、想定通りの回答でしたが、本件については、本来、センターとして、全体の決算書を出すのではなくて、各地区としての決算書を出すべきではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
渡辺会長	<p>大塚課長お願いします。</p>
大塚委員	<p>いま、藤野委員のおっしゃられるとおりの部分もでございます。この中で、不可分、そのような歳入についての、この地域支援事業を行うことに対して、何%というような、国・県それから支払基金からくるものでございます。そ</p>

	<p>れを直営の部分、直営でない部分、それから先ほどから、富津地区あるいは大佐和地区の地域包括支援センターからの御説明のなかでもありましたとおり、虐待等、市がその対応した部分もございます。そのような不可分がございまして、分かりずらいかもしれませんが、今回このような形で表示をさせていただきます。</p> <p>なお、平成26年度の際に、事業計画及び予算という形で、この場で承認をいただいたことに対する事業評価と事業決算という形でお示しさせていただいたところでございます。以上でございます。</p>
渡辺会長	藤野委員。
藤野委員	平成27年度は、金谷温清会さんが、天羽地区を担当されるので、非常にわかりやすくなると思いますが、この点が疑問であったので、参考までに。
渡辺会長	はい、小林委員どうぞ。
小林委員	まったく初めてなものですから、基本的な言葉がわからないのですが、地域包括支援センターという名称は、ここに住んでおり、他の地域からの情報からも、おおよそわかっておりますが、ここに記載のランチの言葉の意味と、この役割を教えていただきたい。
渡辺会長	はい、大塚課長。
大塚課長	まず、ランチとは、支店というような意味でございまして、ではなぜランチを置いていたかと申しますと、本来であれば、地域包括支援センターは日常生活圏域ごとに置くということになっております。
	<p>平成25年度において、地域包括支援センター受託法人を公募した際に、天羽地区においては応募が無かったということで、平成26年度においては例外的ではございますけれども、その日常生活圏域の中に事務所を置かずに、本庁のこの庁舎の中に事務所を置いておりました。そういった関係で、地域で素早く対応いただくため、金谷温清会さんにランチ業務を依頼しておりました。ランチにおいては、私どもがすぐに対応しなければならない対象について、初期相談それから、現況確認ということでお願いしたというところですよ。</p>
渡辺会長	はい、小林委員。
小林委員	よくわかりました。ありがとうございました。

<p>渡辺会長</p>	<p>他にご質疑ご意見等ございますか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようでございますので、議案第3号 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算については、承認することに異議ございませんか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認めます。それでは、議案第3号 平成26年度地域包括支援センターの事業評価及び決算については、承認することに決定いたします。</p> <p>続きまして、議案第4号 平成27年度地域包括支援センターの事業計画及び予算についてを議題といたします。</p> <p>説明員の説明を求めます。説明員の方は、入室してください。</p> <p>(天羽地区地域包括支援センター長 入室)</p> <p>それでは、富津地区地域包括支援センターから順次説明願います。</p>
<p>富津地区 門馬センター 長</p>	<p>それでは、ご説明させていただきます、富津市富津地区地域包括支援センター門馬でございます。</p> <p>平成27年度の事業計画から、ご説明します。22ページをご覧ください。</p> <p>まず、総合相談業務についてでございますが、ご家族に、要介護者と精神障害者等の問題が複合的に存在するケースが多く、今後も増加傾向が見込まれると思っております。専門職チームで迅速に対応したいと思います。</p> <p>実態把握調査では、潜在していた問題に直面することも多くありました。地域内の区長さん、民生委員さん、近隣住民からの情報を受けながら、現状を強化していきたいと思っております。</p> <p>権利擁護業務でございますが、健康教室等で、成年後見制度の周知、移動交番による消費者被害に対する情報を今後も提供していきたいと思っております。</p> <p>また、潜在化しやすい高齢者虐待については、関係機関と協力して対応するようにしていきたいと思っております。</p> <p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に関してですが、事例検討会や地域ケア会議を開催していきたいと思っております。</p> <p>困難事例では、各専門職が支援の目標に向かって連携した対応ができるようにしたいと思います。</p> <p>介護予防業務についてでございますが、健康教室やサロンを増設し、独居</p>

<p>渡辺会長 大佐和地区 三枝センター 長</p>	<p>や閉じこもり高齢者が、なじみの場と相談相手を持つことにより、安定した在宅生活が継続できるようにしたいと思っております。</p> <p>サロン設置に向けては、関係団体と連携し、協力体制を確立するようにしたいと思っております。</p> <p>認知症に対する取り組みでございますが、認知症サポーター養成講座の開催、家族介護教室の実施をしたいと思っております。認知症を介護する家族の支援を継続して行っていきたいと思っております。</p> <p>次に予算書についてご説明をいたします。</p> <p>22ページですけれども、介護予防支援事業予算収入は7,511,000円、これは、法人本部より繰り入れが1,846,000円と、直営・委託を含めた介護予防支援事業収入は、107件で計算をしております。</p> <p>支出に関しては7,511,000円です、専任ケアマネジャーを置いておりますので、人件費と物件費を合わせて4,800,000円、委託分のケアプラン作成料として2,711,000円。今年度の予算書では、富津地区包括のケアプラン作成の自前率を上げるように数字を出しております。</p> <p>次に包括的支援事業及び介護予防事業予算ですが、収入は29,434,000円、うち法人本部より繰り入れが5,154,000円、委託料が収入として24,280,000円でございます。</p> <p>支出ですが、一次予防、二次予防合わせて9,755,000円、人件費と、物件費を合わせての金額です。</p> <p>包括的支援事業・任意事業ですが19,679,000円、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業を合わせて19,494,000円、任意事業として家族介護支援事業、人件費・物件費がそれぞれ計上し、支出合計で29,434,000円となっております。以上で説明を終わらせていただきます。</p> <p>それでは続きまして、大佐和地区をお願いします。</p> <p>それでは、大佐和地区地域包括支援センターの事業計画及び予算につきまして、ご説明をさせていただきます。資料の23ページをお願いいたします。</p> <p>23ページの左側が計画となります。</p> <p>はじめに、職員体制ですが、主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士、</p>
--	--

事務員の4名体制で活動してきました。今年度より介護支援専門員を1名雇用いたしまして、5名の体制で活動していきます。

事業計画でございますが、まずはじめに総合相談ですが、昨年度、広報紙等の周知活動の必要性を実感いたしましたので、圏域の方が気軽に地域包括支援センターに相談してみようと思えるようなセンターを目指し、周知活動を継続しながら、相談業務を実施してまいります。

実際に4月に入ってから、市民の方、また民生委員の方がどこに相談すればよいかわからないので、とりあえず包括に相談してみたということもありましたので、今後も相談においては、内容を的確に把握しまして、内容によっては適切に関係機関繋ぐことや、情報提供することなど、きめ細やかなサービスをしていきたいと考えております。

権利擁護業務につきましては、昨年度の活動の中で、成年後見制度についての相談や、訪問した中で今後成年後見制度が必要となるケースが見受けられましたので、今年度以降に本会が法人後見支援センターの立ち上げ準備をしておりますので、連携を図りながら支援を進めていきたいと考えております。

また、認知症に対する理解を地域に根差すため、圏域内の君津商業高校や、中学校等にも認知症ケア教室を実施していきたいと計画しております。君津商業高校につきましては、昨年度、大貫シニア館で開催しました認知症ケア教室に学校の先生が参加されておまして、学校側から実施についての打診がありました。こちらにつきましては、昨年度の活動が今年度に繋がったと考えております。

続いて、収支予算に移らせていただきます。

はじめに、介護予防支援事業予算です。収入はケアプラン作成に係る収入で5,716,000円です。支出につきましては、職員の人件費、物件費、ケアプラン作成委託料で、5,716,000円です。

続きまして、包括的支援事業及び介護予防支援事業の予算です。

収入といたしまして、市からの委託料と繰越金で、収入合計が21,465,000円でございます。

支出につきましては、地域支援事業費といたしまして、二次予防事業費7

<p>渡辺会長 天羽地区 岩原センター 長</p>	<p>87,000円、また一次予防事業費6,309,000円、こちらにつきましては、人件費や消耗品、印刷製本費等々が含まれております。</p> <p>また、任意事業費の包括的支援事業費といたしまして13,486,000円で、こちらにつきましては、人件費、事務機器、パソコン等の借り上げ料を含んでおります。</p> <p>また、昨年度は任意事業で実施しておりませんでした、家族介護支援事業に883,000円を計上いたしまして、活動していきたいと考えております。</p> <p>また、常に費用対効果を考えながら、経費を削減できるところは削減いたしまして、また充当すべき事業には経費を充当する中で、平成27年度の予算を計上しているところでございます。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。それでは続きまして、天羽地区をお願いします。</p> <p>天羽地区地域包括支援センターの岩原と申します、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、包括の事業計画ということで、お話をさせていただきたいと思っております。お手元の資料の24ページをご覧ください。</p> <p>左側の事業計画書の大項目に沿って1つずつお話しさせていただきます。</p> <p>まず1つ目の総合相談業務ですけれども、我々は今年4月1日から開設したばかりの包括ということもございまして、まずは地域の方にその存在を知っていただくという周知活動、それから、相談しやすい、足を運びやすい環境という環境面から、考えていきたいと思っております。</p> <p>その上で、地域へ我々から出向いていく、地区社協さん、民生委員さん達の集まりですとか、出前講座等々の作業を行いながら、その場で様々な情報を収集していくことが、高齢者の方々の実態把握に繋がるのではないかと考えております。</p> <p>続きまして、権利擁護業務ですが、天羽地区では、支援が必要な方だけでなく、そのご家族等支える方達が病気であったり障害であったりという何かしらの問題を抱えているといった事例が増えてきている特徴があるため、複合的なところに迅速な対応ができるよう臨みたいと思っております。</p>
---------------------------------------	--

次に包括的・継続的ケアマネジメント支援事業についてですが、こちらは介護、医療、福祉様々な関係機関がそれぞればらばらに動くのではなく、横のつながりが構築できるようにしていきたいと考えております。その上で各専門職たちの間でスムーズな連携ができるような、調整をしていきたいと考えています。

続いて、介護予防業務ですけれども、介護の前段階の方たち、自立の方から支援の認定の方達、幅広い層になりますが、地域の健康促進を常に考えながら、介護が必要な状態に陥ることのないように、介護予防普及啓発活動を継続的に積み重ねて行っていくことで対応したいと考えております。

地域におけるネットワークですけれども、地域ケア会議を3回程度初年度に行っていきたいと考えています。こちらを基にネットワークの構築に繋げていきたいと考えているとことでもあります。

それから、認知症に対する取り組みですが、認知症であっても安心して過ごせる地域を目指しながら、サポーターの養成や、医療機関との連携などに力を入れながら、様々な角度から支援を行えるように考えています。

続きまして、右のページの収支予算に移らせていただきます。

まず、介護予防支援事業予算の収入ですけれども7,984,000円として計上しております。収入内訳は、介護予防支援事業収入として5,427,000円、毎月およそ100件程度の介護予防の給付として、資料に記載のとおりです。その他に法人本部よりの繰り入れとして2,557,000円を考えております。

支出につきましては、そのうち介護予防支援費において、人件費・物件費合わせて6,590,000円、それからケアプラン作成の委託をしている居宅支援事業所への支払で1,394,000円として考えております。

下段の包括的支援事業及び介護予防事業についての予算ですけれども、収入の部ですが、こちらは主に市からの指定事業委託料がほとんどでありまして23,012,000円を見込んでおります。

これに対して支出ですけれども、地域支援事業費として4,926,000円を考えております。その内訳としては、二次予防事業1,478,000円、一次予防事業3,448,000円という割り当てで考えております。

<p>渡辺会長</p>	<p>それから、包括的支援事業・任意事業費として18,086,000円、内訳として介護予防ケアマネジメント事業2,974,000円、総合相談支援事業3,149,000円、権利擁護事業に同じく3,149,000円、包括的・継続的ケアマネジメント5,784,000円、さらに、任意事業の家族介護支援事業ということで、様々な業務が含まれますが、そちらに3,030,000円、合計23,012,000円という支出です。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>以上3地区、説明員の説明は終わりました。ご質疑、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>今木委員</p>	<p>今木委員</p> <p>3法人、センターの委託料収入を見てみますと、富津地区が24,280千円、大佐和地区が21,090千円、天羽地区が22,710千円ということで、少しずれておりますが、この原因は何でしょうか。</p>
<p>渡辺会長 大塚課長</p>	<p>大塚課長。</p> <p>まず、富津地区、大佐和地区、天羽地区それぞれ高齢者人口が違います。高齢化率につきましては、天羽地区が多いのですが、高齢者人口では富津地区が多くなっておりますので、こちらからお願いしております配置職員の差がございます。</p> <p>それからもう1点、先ほど来、各地域包括支援センターの皆様からお話がありましたように、地元で周知をしていただき、困っている方に相談をしていただく、そういう部分で行政面積が大きい場合、具体的にはガソリン代等、それから案件のお宅に伺うにも時間がかかる。そういう意味で行政面積に応じた経費を算出しております。そのような部分で、各地区の委託料が違うという状況です。また、大きな部分としては、天羽地区につきましては、今年度から地域包括支援センター運営業務をお願いしているわけがございます。額が見合うかどうかという部分ではありますが、初度整備代としての経費が含まれております。以上でございます。</p>
<p>渡辺会長 藤野委員</p>	<p>他に意見ございますでしょうか</p> <p>はい、藤野委員。</p> <p>大変細かいことですが、何点かお伺いします。</p>

	<p>まず1点目、富津さんと大佐和さんについて、地域支援事業の拠点として、サロンとか、介護教室を実施しているようですが、具体的にサロンはどちらにありますでしょうか。</p>
渡辺会長	<p>では、富津地区門馬さんお願いします。</p>
富津地区 門馬センター 長	<p>サロンとしては、計画はしておりますが、まだ開設には至っていませんが、健康教室としては、富津地区に2ヶ所と川名と大堀で行っております。月2回のところと、月1回のところがあります。</p>
	<p>また、希望者が多いものですから、法人の予防センターにおいて、臨時に月1回開催しております。</p> <p>今後、サロンを地域に作っていきたいと考えておりますので、予防センターでしばらく、参加していただき、サロンができれば、そちらに移っていただく予定しております。</p>
渡辺会長	<p>はい、藤野委員。</p>
藤野委員	<p>サロンとは、具体的にどんなことをそちらでされるのでしょうか。</p>
渡辺会長	<p>富津地区門馬さん</p>
富津地区門馬 センター長	<p>体操ですとか、認知症の講習ですとか、特にサロンだから何をしなければならぬというものではないのですが、介護予防を中心とした、皆様が集まれる場を作りたいと思っております。</p>
渡辺会長	<p>藤野委員。</p>
藤野委員	<p>収入の方ですが、拠点部分間繰入金収入、あるいはサービス区分間繰入金収入とあり、それが法人本部よりとあるが、具体的にどういうことか。</p>
	<p>疑問なのは、収入は法人として、自前であるのでしょうか。</p>
渡辺会長	<p>はい、大塚課長お願いします。</p>
大塚課長	<p>私どもの方で委託しております委託料と、その歳出との差額が予想され、法人本部から赤字補てんをされるということになっております。</p>
渡辺会長	<p>藤野委員。</p>
藤野委員	<p>予備費のような形で、法人が支出をする予定であるということですね。</p> <p>この名称は、拠点あるいはサービスとなっているが、何か区別があるのか。</p>
渡辺会長	<p>大塚課長。</p>
大塚課長	<p>法人の表記の仕方であると理解しております。</p>

渡辺会長	藤野委員。
藤野委員	支出の方ですが、その内訳のほとんどが、やはり人件費と思われるが、各センターで職員は何名で予算を組んでいるのか。
渡辺会長	では、天羽地区からお願いします。
天羽地区岩原センター長	天羽地区につきましては、基本3職種で3名、その他にケアマネジャーが1名、その他事務員1名の5名体制です。
渡辺会長	大佐和地区お願いします。
大佐和地区三枝センター長	大佐和地区も同じような形で、基本3職種で3名、ケアマネジャー1名、事務員1名の5名体制です。
渡辺会長	富津地区お願いします。
富津地区門馬センター長	富津地区は、基本3職種で4名、事務員1名、ケアマネジャー1名の6名です。
渡辺会長	はい、藤野委員どうぞ。
藤野委員	今、介護職員の人件費が少ないのではないかと問題になっていると思うが、十分にこの予算で賄えているのでしょうか。
渡辺会長	大塚課長。
大塚課長	平成25年の10月の際に、地域包括支援センターの公募をさせていただいたところですが、その際の公募要項については、北総の公募要項より若干低く人件費を設定させていただいたところがございます。あるいは北総と同じ単価であったとしても、今は雇用が難しいというお話を公募後、あるいは公募の際に頂いた経緯もございます。この部分については、委託期間3年間の債務負担行為を設定してございますので、その期間中はこの額の改定等は難しいと考えます。
渡辺会長	藤野委員。
藤野委員	勉強不足で申し訳ないのですが、公募なさる時に、市の方から人件費はこのくらいにしてほしいという事だったのか。
渡辺会長	大塚課長。
大塚課長	市から委託料としては、この額での委託である、さらにこれを下回る額の提示の場合には、そちらの下回った方の事業者を選定しますという考え方により選定したものです。

渡辺会長 小林委員	小林委員。 大佐和地区の今年度の包括事業及び介護予防事業予算のことについてご質問ですが、予算が前年度と比較し、それほど下がっていないが、2次予防事業費が前年度と比較しかなり少なく、他に回っているようだが、何か前年あるいは他の地区と比べて、特別な理由があるのか。
渡辺会長 大佐和地区三 枝センター長	大佐和地区三枝さんお願いします。 平成26年度と比較し、確かに一次予防にかなり多くの予算を計上しているが、やはり介護予防という中で、この一次予防に力を入れ、皆様が自立した生活ができるように健康教室等に力を入れていきたいということで、こちらに予算を計上しております。
渡辺会長 今木委員	はい、今木委員。 各包括での困難ケースがあれば、お聞きしたい。
渡辺会長 富津地区門馬 センター長	それでは富津地区からお願いします。 介護保険だけで対応して終わるということだけでなく、複合的な問題をはらんでいることが多くありますので、色んな職種が協力して対応するということがとても多くなっています。
渡辺会長 大佐和地区三 枝センター長	続いて、大佐和地区お願いします。 困難ケースは、たくさんあるところではありますが、富津地区さんが言われたように介護保険等だけではまかないきれない、複合的なケースがあります。この前もあったのが、1人の方が生活困難で、かつ介護保険を利用されている方ですが、親子喧嘩をして出ていけと言われて出て行ったが、どこに行っただかわからない。本人は道路の前でずっと待っている。そこにケアマネと生活保護のケースワーカーが対応するが、5時間程その場から動いてくれない。など、やはり色んなものが絡み合っているので、これから活動していく中で、またそのようなケースが増えているため、継続して頑張っていきたいと考えております。
渡辺会長 天羽地区岩原 センター長	では、天羽地区お願いします。 困難ケースといっても、色んなケースがありますが、私も3月いっぱいまでは、居宅でのケアマネジャーという仕事をやっておりましたが、地域の中で見ていて、あきらかにオーソドックスではない、複雑なケースがこの10

	<p>年間で増えている、特にここ2、3年は顕著にあります。</p> <p>そういった中で、まだ2ヶ月しか稼働していませんが、4月の段階で、2件ほどそういったケースも受けています。地域の方達も、困難な複雑な事例は、包括支援センターに相談してみようという意識も出てきていますので、この先もどんどん増えてくるのではないかという予測はしています。</p>
渡辺会長	今木委員。
今木委員	<p>なぜ、困難ケースがあるかという質問をしたかということ、市町村によっては、市が基幹センターとなって、包括支援センターを委託しているというところがある。そのようなところは、市がバックアップしてくれるということで、困難ケースに対応しやすいと聞いている。富津市の場合はどうのような対応あるいは支援していくのか、教えてもらいたい。</p>
渡辺会長	はい、大塚課長。
大塚課長	<p>地域包括支援センターの運營業務そのものは各社会福祉法人さんをお願いしました。しかし、困難ケース等あるいは高齢者の虐待等については、地域包括支援センターだけでは対応しきれない場合があります。そういう部分については、市が支援をしていたり、直接関与する形で、高齢者支援係という名前で4月以降も存続しております。ただ、名称として、地域包括支援センターということにはできないことになっておりますので、高齢者支援係となっております。</p>
渡辺会長	他にご質疑ございますか。
	<p>それでは、ご質疑、ご意見もないようでございますので、議案第4号 平成27年度地域包括支援センターの事業計画及び予算については、承認することにご異議ございませんでしょうか。</p>
	(委員から「異議なし」の声あり)
	<p>異議なしと認めます。議案第4号 平成27年度地域包括支援センターの事業計画及び予算については、承認することに決定いたします。</p>
	説明員の方は、大変お疲れ様でした、ご退室いただきたいと思います。
	(各地区地域包括支援センター長 退室)
	以上で、本日の審議は終了しました。
	委員の皆さんからその他で何かありますか。

三枝委員	<p>はい、三枝委員どうぞ。</p> <p>三枝です。ちょっとお伺いしたいのですが、いきいきふっつ高齢者プランの32ページにあります、介護予防日常生活支援総合事業については、要支援1・2の人を含んだ今後の介護のやりかたになってくると思います。平成29年4月からとは、移行の一番遅い時期ですが、とはいってももう丸2年ありませんので、さっそく準備を進めなければならないと思いますが、現在の進捗状況あるいは、まだ未定の部分があれば、どういう形でそれを策定していくのか、そういった見通しというか、そういったものを教えていただければと思うのですが。</p>
渡辺会長	大塚課長。
大塚課長	<p>この総合事業につきましては、現在要支援1・2の方が受けている、訪問介護と通所介護が、予防給付から切り離され、地域支援事業へ移行され、現在ある地域支援事業を厚くして、新しい総合事業を実施するという事になっております。</p> <p>この総合事業につきましては、まず、私ども保険者だけではどうしようもない部分があります。地域の皆様のご協力をいただければいけない部分、それから医療機関の皆様、あるいは事業所の皆様のご協力を得て、体制を整えて行きたいというところですが、具体的にまだ着手はできていないところですが、平成29年4月に滞りなく必ず実施をしなければいけないところがございます。具体的に、こういうことを考えているということとはございません。</p> <p>まず、地域づくりという部分が大事ではないかということで、それぞれの地域包括支援センターの方々に、今年度から高齢者の方々の生活環境や、認知症の方々の把握などの事業を委託しております。併せて、地域の資源などを把握する事業等を実施して、平成29年4月に必ず実施したいというように考えております。</p>
渡辺会長	今木委員。
今木委員	このことに関し、松戸市など、今年から始めるという情報も聞いております。ぜひ参考にしてほしいと思います。
渡辺会長	三枝委員。

三枝委員	<p>要支援1の人は比較的軽い状態の方と思うが、要支援2の人は、要介護1に近い点数が出ている人たちですので、実際にこういった人たちが路頭に迷ってしまうと、大変なことになりますので、しっかりとした体制と整えていただきたいのと、やはりお金も絡んでくる事業ですので、公平性とか公開とか、広報をしっかりしていただいて、誰もが平等に参加できるような、システムを作り上げていただきたいと思います。</p>
渡辺会長	<p>大塚課長、如何でしょうか。</p>
大塚課長	<p>まず、地域支援事業、要支援1・2の方の通所介護及び訪問介護につきましては、平成29年4月から新しい事業を始める、それまでの間はこれまでの予防給付をご利用いただく。</p> <p>その中で、私どもとしては、平成29年4月から事業を始めるという形ですので、新しい事業を市がどのように取り組むか、という事の部分が問題となってきます。</p> <p>現在の要支援1・2の方につきましては、これまでの予防給付を切れ目なくご利用いただけるというところです。</p> <p>それから、公募等につきましては、介護予防事業所、訪問介護予防事業所、通所介護予防支援事業所につきましては、みなし指定という形で、事業所の皆様が拒否をされない限り、引き続きサービスを提供いただける。</p> <p>それから、私どもが新たな事業を展開する際には、偏った形ではなく、公募という形で考えていかなければならないし、その形でないと事業が立ち上げられないと考えております。</p>
渡辺会長	<p>他に委員の皆様からありますでしょうか。</p>
大塚課長	<p>それでは事務局から、何かありますでしょうか。</p>
大塚課長	<p>特にありません。</p>
渡辺会長	<p>それでは以上をもちまして、平成27年度第1回富津市介護保険運営協議会を終了いたします。今回は被保険者の方からも活発な質疑がございました。このように遠慮しないでご意見いただきたいと思います。それでは長時間にわたりまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>
	<p>閉会（16：23）</p>

上記会議の顛末を録し事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

富津市介護保険運営協議会仮議長

\_\_\_\_\_

富津市介護保険運営協議会議長

\_\_\_\_\_

署名委員

\_\_\_\_\_